

国会議事堂に使用された岡山県新見市産大理石石材「黒柿」：マイクロコディウム組織を持つ石灰岩

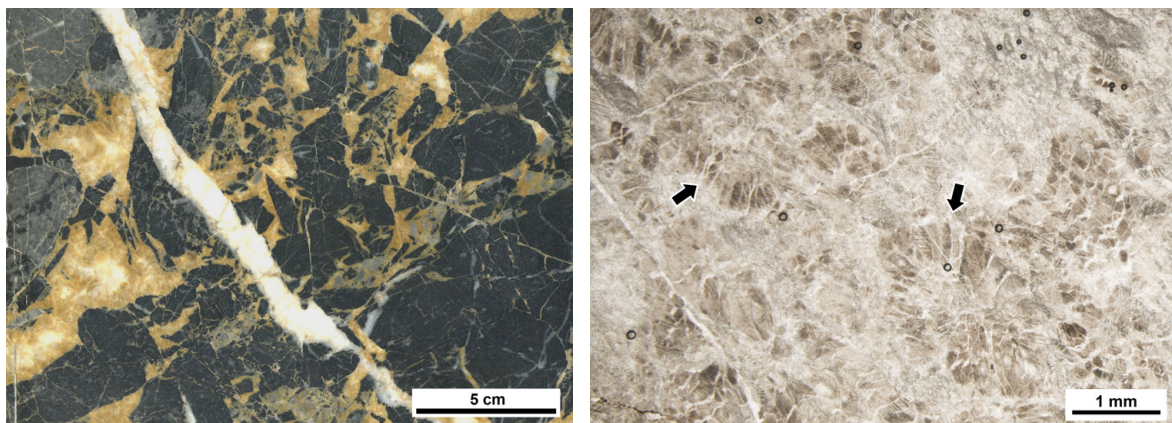
中澤 努¹⁾・上野 勝美²⁾・西本 昌司³⁾・乾 睦子⁴⁾

岡山県阿哲郡哲多町花木(現 新見市哲多町花木)の阿哲石灰岩産の「黒柿」と称される大理石石材は、昭和11年竣工の国会議事堂の閣議室暖炉に用いられたことで高い関心が持たれているが(乾・北原, 2009), その産地及び岩相の詳細は不明であった。筆者らが、石材業者が保管していた「黒柿」のサンプルの検討及び採掘跡地と思われる場所の調査を行った結果、「黒柿」はマイクロコディウム組織を持つ石灰岩であることが明らかになったので報告する。

マイクロコディウムは土壌形成に伴い生成される炭酸塩組織であり(Košir, 2004; Kabanov *et al.*, 2008), 山口県美祢市の秋吉石灰岩からも石材として採掘されたことがある(中澤ほか, 2016, 2022)。



第1図 国会議事堂閣議室の暖炉に使用される大理石石材「黒柿」。暖炉の全景(左)と近接画像(右)。全体に黒色を呈するが、斑状に原岩の灰白色石灰岩が残存することを特徴とする。白色～黄褐色の方解石脈が顕著に発達する。撮影協力：参議院・衆議院



第2図 国会議事堂の石材を調達・施工した石材業者が保管していた「黒柿」の研磨標本(左)と薄片写真(右)。石材業者保管の「黒柿」サンプルの岩相は国会議事堂の「黒柿」の岩相と相違ない。薄片では研磨標本の黒色部に相当する部分に、トモロコシの子実のような形状の褐色の方解石結晶(矢印)からなるマイクロコディウム組織がみられた。試料提供：矢橋大理石株式会社

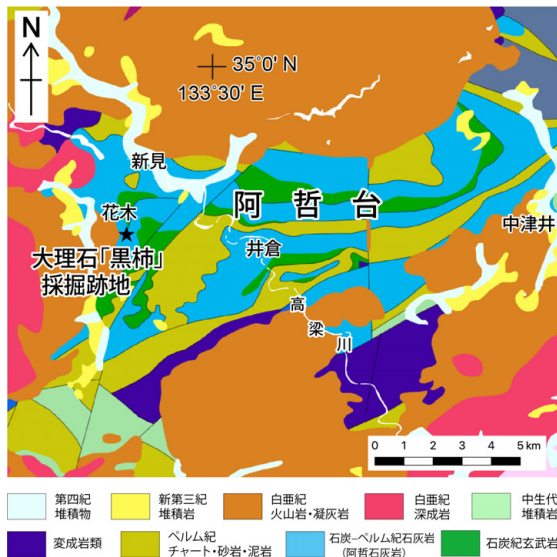
1) 産総研 地質調査総合センター地質情報基盤センター

2) 福岡大学理学部 〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈

3) 愛知大学法学部 〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町

4) 国土館大学工学部 〒154-8515 東京都世田谷区世田谷

NAKAZAWA Tsutomu, UENO Katsumi, NISHIMOTO Shoji and INUI Mutsuko (2024) Stone material (limestone) "Kurogaki" from Niimi City, Okayama Prefecture used for the National Diet Building of Japan: Microcodium limestone.

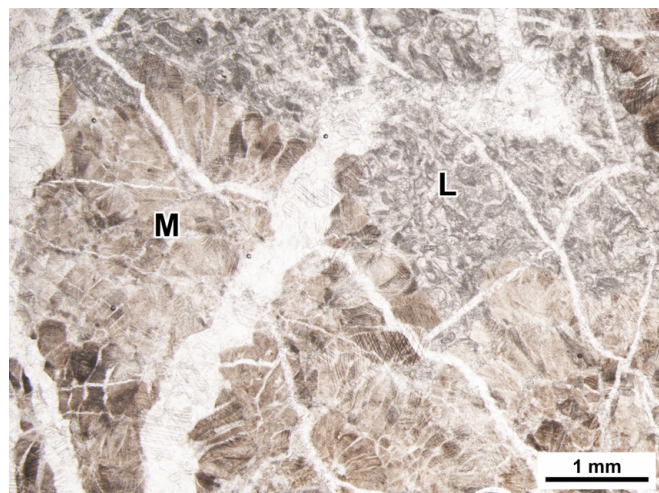
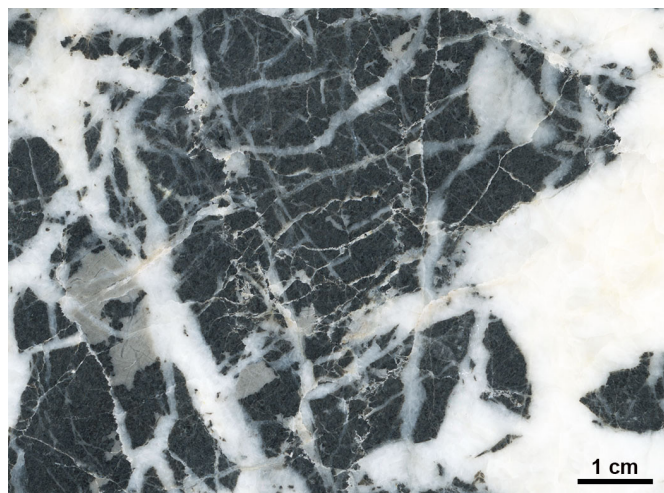


第3図 阿哲台および周辺地域の地質図。20万分の1日本シームレス地質図V2（産総研地質調査総合センター，2022）を簡略化して作成。「黒柿」が採掘された阿哲石灰岩は，山口県の秋吉石灰岩と同様の，秋吉帯の海洋島起源の石灰岩体である。



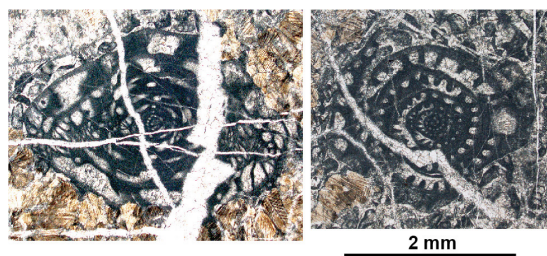
第4図 「黒柿」産地と思われる地点付近の写真。

「黒柿」は戦前に哲多町花木で採掘されたことが石材業者の記録に残されている。地元の方への聞き取りにより，戦前に石材の採掘が行われていたという場所をご教示いただき（現在は道路拡幅により詳細は不明），周辺の露頭を観察したところマイクロコディウム組織を持つ石灰岩が見い出された（矢印）。阿哲石灰岩からのマイクロコディウム組織の報告は今回が初めてである。
情報提供：矢橋大理石株式会社，藤田ちよ子氏（新見市在住）



↑第5図 新見市哲多町花木で採取したマイクロコディウム組織を持つ石灰岩の研磨標本（左上）と薄片写真（右上）。

「黒柿」サンプルと同様に，薄片では研磨標本の黒色部に相当する部分にマイクロコディウム組織（M）がみられた。（L）は残存する原岩の灰白色石灰岩の部分に相当。



←第6図 原岩の灰白色石灰岩に含まれるフズリナ化石。

Montiparus 属が見い出されたことにより，秋吉石灰岩でのマイクロコディウム産出層準と同じ後期石炭紀カシモビアン期の石灰岩であることが明らかになった。

文献

乾 睦子・北原 翔（2009）日本の建築用大理石石材と産地の現状。地質学雑誌，115（1），I-II。
 Kabanov, P., Anadón, P. and Krumbein, W. E. (2008) *Microcodium*: An extensive review and a proposed non-rhizogenic biologically induced origin for its formation. *Sedimentary Geology*, 205, 79–99.
 Košir, A. (2004) *Microcodium* revisited: Root calcification products of terrestrial plants on carbonate-rich substrates. *Journal of Sedimentary Research*, 74, 845–857.
 中澤 努・井川敏恵・上野勝美・藤川将之（2016）国内産古生代大理石石材の岩相とその成因。石灰石，no. 399，20–43。
 中澤 努・藤川将之・上野勝美（2022）山口県美祢市秋吉産大理石石材「山口更紗」にみられるマイクロコディウム組織。GSJ地質ニュース，11，363–364。
 産総研地質調査総合センター（2022）20万分の1日本シームレス地質図V2。https://gbank.gsj.jp/seamless/（閲覧日：2024年1月17日）

（受付：2024年3月4日）